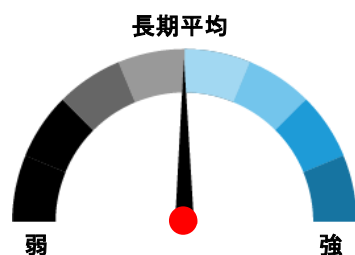


世界景気バロメーター

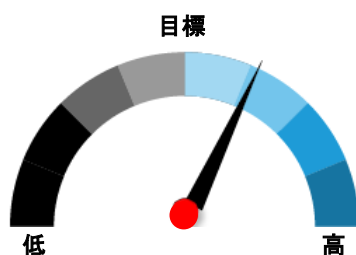
2026年7－9月期

経済成長



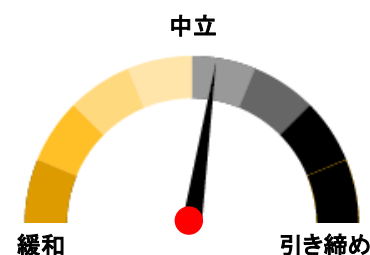
- 世界経済は安定的に推移しているものの、エネルギー価格が高止まりすれば成長の阻害要因となり得る

インフレ率



- 2026年前半のエネルギー価格上昇の波及効果により、年内は前年同月比ベースで見たインフレ率は高止まりする見通し

金融政策



- 多くの中央銀行が金利を引き上げたが、エネルギー価格が再び上昇に転じない限りさらなる利上げの必要性は限定的。それでも、一部では若干の追加利上げの可能性が排除できない

米国の見通し

実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)	
2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予
2.2	2.2	3.3	2.4	3.63	3.38	4.25	4.50

2026年6月30日現在。アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)予想。予想は今後変更される可能性があります。出所：AB

- 米国経済は、イラン情勢を受けたエネルギー価格上昇による逆風をはねのけ、安定的に成長している。足元では物価が比較的安定していることから、2026年後半の消費は底堅く推移すると見られる
- 人口知能(AI)関連の投資は景気をけん引しており、雇用に対してもマイナスにはなっていない模様。労働市場はむしろ2025年の落ち込みから回復の兆しを見せている
- 一方、経済成長と雇用回復の対価として物価が高止まりしており、インフレ率は米連邦準備制度理事会(FRB)の目標水準を3年連続で上回っている
- リスク要因としては、堅調に推移してきた株式市場が下落に転じた場合に富裕層の消費が落ち込む「逆資産効果」や、AI関連投資が過剰となった場合の反動などが挙げられる。また、グローバルな地政学的リスクも依然くすぶり続けており、11月には米国の中間選挙も控えている

当資料は情報提供のみを目的としてアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが作成したものを、アライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳したものであり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。当資料は信用できると判断される情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予想、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。ABはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。

ユーロ圏の見通し

実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)		通貨 ユーロ／米ドル	
2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予
0.7	1.0	3.0	2.4	2.50	2.00	2.75	2.60	1.13	1.15

2026年6月30日現在。AB予想。予想は今後変更される可能性があります。出所：AB

- ・ 足元ではエネルギー価格が反落しているが、4－6月期の石油・ガス価格上昇によって家計や企業が受けた影響が払しょくされるまでには時間がかかる見通し
- ・ インフレ率は、年内は欧州中央銀行(ECB)の目標水準を上回り、2027年によりやく目標水準まで低下すると予想される
- ・ ECBは6月に政策金利を引き上げ、再利上げも予想されているが、そのタイミングは不確実。2027年にはインフレ率が低下するにつれ金利を中立水準まで引き下げると想定される
- ・ 地政学的リスクは引き続き注視していく必要がある。ドイツのインフラ／防衛関連支出は計画よりも遅れており、財政支出拡大による景気刺激は予想を下回るおそれがある

日本の見通し

実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)		通貨 米ドル／日本円	
2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予
1.0	1.0	2.5	2.0	1.00	1.25	2.50	2.25	160	150

2026年6月30日現在。AB予想。予想は今後変更される可能性があります。出所：AB

- ・ 労働市場ひっ迫による名目賃金上昇が消費を下支えする中、日本銀行(日銀)は追加利上げに踏み切った。日銀は今後も緩やかなペースで金融政策の正常化を進めると見られるが、政治動向が制約要因となり得る
- ・ 日銀による金利引き上げが他の中央銀行よりも緩慢なものにとどまれば、円安傾向は当面持続する可能性が高い

新興国の見通し

	実質GDP成長率(%)		インフレ率(%)		政策金利(%)		10年国債利回り(%)	
	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予	2026年予	2027年予
新興国 (除く中国、ロシア)	3.6	3.6	7.2	5.8	9.54	8.39	9.25	8.71
中国	4.5	4.3	1.0	1.5	1.00	1.25	2.00	2.25
アジア (除く日本・中国)	5.0	5.2	4.0	3.4	4.50	4.51	5.81	5.76
ラテンアメリカ	1.8	1.6	7.1	5.8	12.42	11.18	10.14	9.66
EEMEA*	2.0	2.3	11.4	8.7	15.65	11.67	9.99	8.74

2026年6月30日現在。AB予想。予想は今後変更される可能性があります。*EEMEA: 東欧・中東・アフリカ。出所：AB

- ・ エネルギー価格上昇に対する懸念は後退したが、これまでの燃料・肥料価格上昇や「エルニーニョ現象」による天候不順などから食料品価格が上昇する可能性を考慮すれば、物価に関するリスクは引き続きインフレ方向にある
- ・ 一方、AI関連投資の拡大や株価上昇を受けた「資産効果」などに支えられ、景気は堅調に推移している。多くの新興国が資源供給、半導体関連、製造設備などの面でAIのサプライチェーンに組み込まれている
- ・ エネルギー・ショックを受けて多くの新興国で利上げが行われたが、市場にはすでにおおむね織り込まれている。ただし、今後FRBによる利上げが市場の予想を上回る規模となった場合は、通貨安を含めネガティブな影響が生じ得る
- ・ 中国では引き続き好調な輸出セクターと低迷する内需セクターで両極化している。世界的なエネルギー価格上昇の影響は小さかったが、内需低迷が続いているため、現時点ではインフレ・リスクよりもデフレ・リスクの方が大きな懸念

その他通貨

	2026年予	2027年予
米ドル／中国人民元	6.85	6.90
米ドル／英ポンド	1.33	1.34
米ドル／豪ドル	0.72	0.75

2026年6月30日現在。ABによる各年末予想。予想は今後変更される可能性があります。出所：AB

当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。特定の投資信託の取得をご希望の場合には、販売会社において投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず詳細をご確認のうえ、投資に関する最終決定はご自身で判断なさるようお願いいたします。以下の内容は、投資信託をお申込みされる際に、投資家の皆様に、ご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

- 投資信託のリスクについて
アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用する投資信託は、株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。リスクの要因については、各投資信託が投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等をご覧ください。
- お客様にご負担いただく費用—投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。
 - 申込時に直接ご負担いただく費用 …申込手数料 上限3.3%（税抜3.0%）です。
 - 換金時に直接ご負担いただく費用…信託財産留保金 上限0.5%です。
 - 保有期間に間接的にご負担いただく費用…信託報酬 上限2.068%（税抜1.880%）です。

その他費用…上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アライアンス・バーンスタイン株式会社が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第303号

【加入協会】一般社団法人資産運用業協会／日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会